

ひろば

若い目特集

友の応援胸に入試に挑む

海星中3年

甲斐 優輝

ある日、教室は僕1人になった。3年生は私立入試のために島外に行っている。僕たちが入試を受けるためには、宿泊が必要になる。だから入試が重なる多くの友人が公欠になる。

両親に負担をかけたくないから、二者面談で僕は私立高校を受験しない判断をした。第1志望校に合格できるか不安はある。しかし、合格したい一心で今まで勉強してきた。

だから、勉強については自信をもっている。唯一の不安は初めて迎える入試本番が、第1志望校の入試だ

ということだ。入試の雰囲気はどういうものだろうか。想像すればするほど、不安が尽きない。

数日後、友人が戻ってきた。雰囲気や待ち時間の過ごし方、面接内容などの話を聞いた。受験しなかった僕にとっては、全てが新鮮だった。友人が「緊張しなくていいよ。自分を信じて入試に挑めば絶対受かるよ」と言ってくれた。

その言葉が心に残っている。

私立入試では僕が応援した。でも、今度は僕が応援される。応援はとも力になる。友人の言葉

からそれは実証済みだ。志望校合格を目指し、学級の全員が笑顔で春を迎えられるように頑張りたい。